

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036903	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳, BERNICK PETER JOHN, 西郷 達雄, 小川 さやか		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標 / Goal	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式 (一部実習形式)		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法 (1) 6. 心の問題を明らかにする方法 (2) 7. 来談者中心カウンセリングについて (1) 8. 来談者中心カウンセリングについて (2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて (1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて (2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p><教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる教育相談 - やわらかアカデミズム・わかるシリーズ - : 春日井 敏之 (編集), 伊藤美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談 - 教師教育テキストシリーズ - : 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際 よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 - こころの科学叢書 - : 高野久美子、日本評論社、2012 		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% 		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036904	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳, BERNICK PETER JOHN, 西郷 達雄, 小川 さやか		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標 / Goal	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式 (一部実習形式)		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法 (1) 6. 心の問題を明らかにする方法 (2) 7. 来談者中心カウンセリングについて (1) 8. 来談者中心カウンセリングについて (2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて (1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて (2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p><教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる教育相談 - やわらかアカデミズム・わかるシリーズ - : 春日井 敏之 (編集), 伊藤美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談 - 教師教育テキストシリーズ - : 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際 よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 - こころの科学叢書 - : 高野久美子、日本評論社、2012 		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% 		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587037702	科目番号 / Subject code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (身のまわりの科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B棟34		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	http://tech.edu.nagasaki-u.ac.jp/muto/ を参照のこと		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部 美術技術教室 206		
担当教員オフィスアワー / Office hours	特に設定しない。随時入室されたい。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	身の回りの科学的な事項、一見科学のように見えて実は科学ではない疑似科学の概要を修得する。また現実世界と仮想世界のギャップについて学び、ICT(情報通信技術)の限界を修得する。ケーススタディやディスカッションといったアクティブラーニング手法を用いる。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・日常にあふれる科学的な事柄のいくつかについて、科学的根拠を持って説明できる ・代表的な疑似科学について、なぜそれが疑似科学であるかを説明できる ・現実世界と仮想世界のギャップを説明できる ・各自の専門領域(所属学部分野)におけるICTの限界を説明できる 		
授業方法(学習指導法) / Method	講義による(ケーススタディやディスカッションを含む)		
授業内容 / Class outline/Con	01: 導入 02: 身の回りの科学(1) 03: 身の回りの科学(2) 04: 身の回りの科学(3) 05: 身の回りの疑似科学(1) 06: 身の回りの疑似科学(2) 07: ケーススタディ(1) 08: ケーススタディ(2) 09: 現実世界と仮想世界 10: ICTの限界(1) 11: ICTの限界(2) 12: ICTの限界(3) 13: ケーススタディ(3) 14: ケーススタディ(4) 15: まとめ		
キーワード / Key word	科学, 疑似科学, 現実世界と仮想世界, ICT		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義資料は適宜LACSで配信する【参考図書の一例】菊池誠, 科学と神秘のあいだ, 筑摩書房(2010), 中谷宇吉郎, 科学の方法, 岩波新書(1958), 内田麻理香, 科学との正しい付き合い方, ディスカヴァー・トゥエンティワン(2010)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業で課した課題30%, ケーススタディ30%, 最終レポート課題40%で100点満点評価し, 60点以上を合格とする		
備考 (URL) / Remarks(URL)	http://tech.edu.nagasaki-u.ac.jp/muto/		
学生へのメッセージ / Message for students	ケーススタディやディスカッションにおいては, 調べてきたことを右から左へ流すだけではなく, 自分自身の理解・解釈を加えて「自分の意見」として発表できることを期待します。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587038102	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (芸術)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加納 暁子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	加納 暁子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	加納 暁子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-akiko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2346		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音楽を取り上げ、教育における芸術の役割について理解することを目標とする。教育において音楽がどのように教えられているのか、音楽を通して人間は何を感じ、何を学ぶのかについて考察する。		
授業到達目標/Goal	文化としての音楽、音楽と人間の関係、音楽教育について理解するとともに、音楽表現ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	音楽について分析、理解して、表現活動を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	人間と音楽、音楽教育、表現		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書「西洋音楽の歴史」東京書籍		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業内における態度・貢献度30% 毎授業内での課題20% 最終試験50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	音楽に興味、関心があること。 音楽活動の経験、音楽学習の経験があり、楽譜が読めることが望ましい。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。 授業態度の悪い者は単位を認めない。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	音楽と情景		
第2回	音楽と情景		
第3回	音楽と映像		
第4回	音楽と映像		
第5回	バロック時代の音楽		
第6回	古典派の音楽		
第7回	ロマン派の音楽		
第8回	舞台芸術		
第9回	舞台芸術		
第10回	舞台芸術		
第11回	日本の音楽		
第12回	日本の音楽		
第13回	合唱・合奏の活動		
第14回	合唱・合奏の活動		
第15回	合唱・合奏の活動		
第16回	最終試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587038502	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部4階 415研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日以外の昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与えているのかを学習し、学校教育の中で、それをどのように扱って行けば良いのかを考える。また、ドイツおよびネパールの環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。		
授業到達目標/Goal	環境と社会と関わりについて、基本的な知識と理解度を高めると共に、現代社会の中で環境要因が具体的にどのように環境や人間に影響を与え、社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを多角的に調べ、環境と社会との関わりのあるべき姿について自らの意見を述べることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	受講者自らが課題を設定し、その課題を解決するために、教科書、配布資料、参考書等で学習するとともに、課題と課題解決のために学習した内容をレポートとし、発表する。また、学習した内容に応じてプレゼンテーションを学生自らが行う。授業中に学習内容の定着度を図る目的で小テストを数回課す。授業中に適宜調べ学習も行なう。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境基本法、環境基準、化学物質のリスク、ドイツの環境事情、環境教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評価割合は、定期考査50%、授業中の小テスト20%、課題レポート20%、発表10%とし、総合点で評価する。合格基準は、総合点で60%以上とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	定員を80名までとします。		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題(事項と内容)を指示する。【課題: 個人レポート】		
第2回	班に分かれて、各受講者ごとに挙げた環境問題を選定した理由を班員に説明する。次に、挙げた環境問題の内容を理解するために必要な学習事項(法規や関連事項)を挙げる課題を指示する。受講者から質問があれば、学習事項の例とその内容について説明する。【課題: 個人レポート】		
第3回	班に分かれて、各受講者ごとに学習事項(法規や関連事項)を発表し、班員全員が必須と考える学習事項を選定する。班ごとに必須となった学習事項を理由と共に発表する。クラス全体での必須学習事項を受講者間の議論により選定する。必須学習事項について各受講者が学習してくる。(特別講師: 横尾美智代)【課題: 個人レポート】		
第4回	班ごとに必須学習事項について学習してきた内容を班内で各受講者が発表を行う。班内でテーマを1つに選定し、その内容についてクラス全体にわかるように説明するための準備を行う。		
第5回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(1) 教員による補足説明。		
第6回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(2) 教員による補足説明。		
第7回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(3) 教員による補足説明。		

第8回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(4) 教員による補足説明。
第9回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(5) 教員による補足説明。
第10回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(6) 教員による補足説明。
第11回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(7) 教員による補足説明。
第12回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 小テストの解説。 各受講生が課題とした法規、環境と社会との関わりを示した具体例の説明レポートの作成を指示。 【課題：個人レポート】
第13回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第14回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第15回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587047901	科目番号 / Subject code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (日本語と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前田 桂子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前田 桂子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前田 桂子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟34		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmaeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部棟624研究室		
担当教員TEL/Tel	2301		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代日本語の音韻、文法、語彙、方言などに関する知識を修得し、身近な日本語を探求する態度を育てる。		
授業到達目標/Goal	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探究し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	日本語 ことば 変化 地域		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書 岩波書店 「もっと知りたい!日本語」シリーズ、金田一春彦「日本語(上)(下)」岩波新書、井上史雄「日本語ウォッチング」岩波新書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中に課すレポート、および学期末試験		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	世界の中の日本語		
第2回	文字について 漢字		
第3回	文字について 仮名		
第4回	語彙について 和語、漢語、外来語		
第5回	語彙について 類義語、複合語		
第6回	標準語、俗語、若者語		
第7回	らしさの表現		
第8回	待遇表現の意義		
第9回	変化する文法		
第10回	変化する文法		
第11回	国語辞典について		
第12回	文体について		
第13回	方言		
第14回	方言		
第15回	単語の意味変化		
第16回	総括		